



芦屋町ワンヘルス推進宣言

芦屋町は、芦屋釜をはじめとした歴史や文化、そして響灘に面した美しい海岸線といった豊かな自然を有しています。

こうした魅力は、町の宝としてこれからも守り育て、未来に繋げていかなければなりません。

また、新型コロナウイルス感染症をはじめとする「人獣共通感染症」は、森林開発などの土地利用の変化などにより、地球温暖化や生態系の劣化が進み、人と野生動物の生存領域が変化したことで、元々野生動物が持っていた病原体が人にも感染するようになったとされています。

こうした様々な分野にまたがる問題に対して、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」をひとつの健康と捉える「ワンヘルス」の理念に基づく総合的な取り組みが求められています。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの基本方針や行動計画を策定しました。

本町は、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守り、次世代に継承していくため、下記の事項に取り組み、ワンヘルスを推進することをここに宣言します。

記

- 1 ワンヘルス実践の基本方針を具体化する福岡県ワンヘルス推進行動計画に連携・協力するとともに、ワンヘルス実践施策を推進します。
- 2 町民へのワンヘルスの周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し、必要な支援を行います。

以上

令和7年 1月 30日

芦屋町長 波多野茂丸